

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



中春別小学校「大運動会」が開催されました

雨天のため1日遅れの6月5日開催となった「大運動会」。この日のために一所懸命練習してきた生徒たち。親子一緒に競技では息もピッタリ、子供も親もゴールへ向かって全力疾走！ 保護者、地域がひとつになった1日でした。



7月号

2017 Vol. 474

力強い農業と豊かな魅力 ある地域の実現を目指し



挨拶を述べる小湊組合長

第43回中春別農業協同組合通常総会が6月7日(水)、農業者団地センターで開催されました。

総会に先立ち優良組員、乳質改善・良質乳生産組員、経営移譲感謝授与式者の表彰授与が行われた後、小湊組合長から挨拶(別記参照)がありました。

総会の成立については、正組員264人(本人出席90人、書面及び代理出席115人)が出席し、議長には中春別地区の高橋真悟氏、豊原地区の中村貞志氏が指名され議事に入りました。

議案第1号「平成28年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について」関連があるため議案第2



佐藤専務より組合員のみな様へ説明がされました

号「平成29年度事業計画の設定について」、議案第3号「賦課金の賦課及び徴収方

法について」が一括上程されました。

続いて議案第4号「全国農業協同組合連合会が行う



農業経営事業に関する当組合の同意について、議案第5号「規約付属書」監事監査の規定の一部変更について、議案第6号「役員退職慰労金支給規程の一部変更について」、議案第7号「役員報酬の支給について」、議案第8号「役員報酬審議委員会委員の選出について」、報告事項1「労働保険事務組合の平成28年度徴収・納付状況の報告について」佐藤専務より説明され、それぞれ原案通り満場一致で承認されました。

議案審議終了後、「J Aグループ北海道改革プラン」を進めるための「農業所得20%増大」「新規担い手の倍増」「サポーター1550万人

づくり」を積極的に取り組む特別決議「J A北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」について大山常務が説明し、満場一致で決議されました。

閉会にあたり西川副組合長より「今後の将来を見据えた、なかしゅんべつ未来牧場の建設を中心として20年、30年後の中春別地域の発展に組合員の皆様と役員一同が協力し、振興計画を達成したい」と述べ閉会いたしました。

**平成28年度
優良組合員表彰者**

有限会社 アイオー牧場
代表取締役 井上憲太郎
乳質改善・良質乳生産組合

員表彰者

佐藤 樹元
経営移譲感謝状授与者
平井 房夫
新規就農激励状授与者
北村 仰
北村 ミルドレッド



優良組合員表彰者 有限会社アイオー牧場代表取締役 井上憲太郎氏



経営移譲感謝状を受け取る後継者、平井優一氏



新規就農激励状を受ける北村仰氏

**小湊組合長より総会挨拶
新たな担い手の確保・
育成支援に取り組む**

本日は、公私ともご多忙の中、ご臨席を賜りました行政並びに系統連合会を始め、各関係機関と組合員多数の皆様方のご出席のもと、本総会が開催出来ます

こと、厚くお礼を申し上げます。

さて、我が国の経済は緩やかな景気回復基調が継続していると言われていますが、海外経済の不確実性や

金融資本市場を中心とした不安定な状況に加え、為替相場の大幅な変動に対し懸念があり、消費動向を含め、先行き不透明な状況が続いています。国際貿易交渉につきましては、アメリカ新政権のTPP離脱表明を受け、不透明な状況となっており、アメリカは2国間協議でのFTAを目指し、加え

て日EUでのEPA大筋合意に向けた動きもあることから、その動向を注視しつつ農業を守る運動展開が必要だと思われれます。また、各農協系統組織は自己改革を進めています。昨年4月に改正農協法が施行され、農業所得の増大に最大限の配慮をすることとなり、農業組織の改革が求め

られています。こうした中、J A北海道大会で決議した農業所得20%増大、地域担い手の倍増などの実践による自己改革を進めております。本日、本総会におきまして着実な実践に関する特別決議の提案をし、力強い農業と豊かな魅力ある地域の実現を目指すべく決議をお願いいたします。

増産投資の意欲わく結果

本年度の酪農畜産政策・価格対策は、算定方式の見直しの初年度となる加工原料乳生産者補給金単価と交付対象数量の設定が最大の焦点でしたが、補給金単価が10円56銭と2円の増となり、交付対象数量は350万トンで決定されております。関連対策は、乳用後継牛の確保と生産基盤強化の緊急支援事業・生乳の流通合理化対策・酪農ヘルパー事業の拡充、補正では畜産クラスター事業、働き方改革に関する酪農経営体生産性向上緊急対策など、補正を合わせますと2836億円の予算が措置されました。用途別原料乳価格は、加工原料乳チーズ向けが特別対策を含め1円の引き上げとなり、補給金用途別を合わせると、プール乳価で2円60銭の上積みとなりました。過去最高の100円に迫る水準まで来ており、今後、増産の投資に向けて意欲の湧く結果となりました。

昨年度、当地区は収穫期の1番草は長雨や低温によ

り収量の減、品質の低下となり地区内における粗飼料の価格に流通を含めて対策が必要となりました。また、8月には台風が相次いで襲



来し、地区内におきましても甚大な被害をもたらした。被災されました建物など多数被害を受けました。被災されました組合員の皆様方には改めてお見舞いを申し上げます。次第であります。このような環境下でありますが、平成28年度の当地区内の生乳生産実績

は11万9855トンで前年対比101.9%の実績であり、一つの目安であった12万トンに迫るものであります。搾乳戸数の減少や予期せぬ自然災害による被災の中、生産現場において組合員の皆様を始め、ご家族が一丸となつて生乳生産に取り組まれた日々のご努力に對し心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。次第であります。

生産目標の達成を

昨年度から新たにスタートした北海道生乳生産基盤安定供給強化対策は、全道一律の目標伸び率103%を基本としながら、各農協の生産意向数量を各農協の生産目標として位置づけられております。当農協も出来る範囲で諸対策を講じて参りますので、目標数量に近づけるべく達成を切願いたします。

畜産経営の安定に関する法律が衆議院本会議で可決され、現在、参議院で審議中でございます。加工原料乳生産者補給金等の交付に関する

措置について恒久法として位置づけ、補給金交付対象を拡大し、指定を受けた業者に集送乳調整金を交付するなどの措置を講じるとされております。しかしながら、政省令や局長通知等で規定される年間販売計画の基準、集送乳調整金の算定、生産者の申し出を拒むことが出来る理由など検討は法案成立後とされており、その内容について懸念材料は山積しております。重要と思われるのは、これらの酪農全体のあり方、また、生産現場の実態を捉えた政策決定を望むものであります。今後、混乱の生じない様、全体総意で運動展開をする必要があります。

当地区は3本の河川の地域内に位置しており、将来にわたり漁業との共存共栄が出来る社会をつくること、組合員個々の施設環境を確立する必要があります。現在、国営環境保全型かんがい排水事業も進められております。一方では、別海パイオガス事業を利用しながら施設整備の補完として活用されますようお願い申し上げます。



げます。

生産基盤の拡大と向上

平成28年度のJAの事業成果につきましては、生乳・個体合わせた総販売高が147億8500万円と過去最高の実績を上げることが出来ました。これも偏に組

将来、酪農家の仲間入りを目指し、 経営管理・技術習得に日々奮闘している研修生

(株)なかしゅんべつ未来牧場酪農研修センターでは、4月1日より生乳の出荷を始め、現在65頭の搾乳牛で、日量1900ℓ前後を出荷しております。

4、5月に分娩が集中したため、哺乳子牛が40頭近い時期もありましたが、現在は雌子牛27頭、F16頭の哺乳作業に取り組んでいます。研修生は、妻帯者2組4

合員とご家族皆様の継続性を持った日頃のたゆまない努力と、JA事業へのご理解・ご利用の賜物と深く感謝する次第でございます。のち程、議案の中でご説明いたしますが、盤石で強固な財務基盤構築のため引き続き内部留保に向けることも、出資配当をご提案させていただきます。組合員の皆様にはご理解を賜りたくお願いするものでございます。組合員あつてのJAであり、

健全なJAであつてこそ組合員の支援が出来ると思っておりますので、より一層のJA結集とJA利用についてお願いを申し上げます。

昨年の総会において、平成28年度から平成33年度を目標とした地域農業振興化計画と、平成30年度を目標とした第10次中期経営計画、未来ある地域づくり活動の実践をスローガンとしてご承認をいただきました。新

たな担い手の確保・育成支援のため共和育成牧場を法人化し、研修機能を持つ生産施設を建設し、就農に向けた人材育成・地域内の労働力確保について承認をいただきました。この春に「株式会社なかしゅんべつ未来牧場」として新たにスタート出来、研修生も日々、担い手としての習得に努力しております。今後も農協が全面的に関わりながら地域を担う人材育成に取り組んで

参ります。また、中春別地域畜産クラスター協議会を始めとする各関係機関との連携により、地域目標の共有と地域全体の取り組みにより、生産基盤の拡大と生産性向上を図り、収益力向上に向け、農協事業を展開して参りますので、組合員皆様を始め、各関係組織には改めてご協力いただけますようお願いを申し上げます。現在、中・長期的な視野に立

ち、前向きな姿勢で取り組んで参ります。

結びになりますが、行政を始め、系統連合会並びに各関係機関に対しまして今後より一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。本総会にあたってご挨拶とさせていただきます。

人、単身者1人(別海高校専攻科学生)計5人で作業に当たっており、搾乳、哺乳、育成管理、給餌・除糞作業を分担しながら対応し、特に搾乳作業については、妻帯者毎に左右に分かれ、搾乳手順に従い作業に当たっています。

その他、肥料、消化液散布を実施し、6月26日から1番草の収穫を開始しており、天候にも恵まれ7月6日に

無事終了いたしました。

研修生は、新規就農に向けた様々な技術、経営管理を習得していただくとともに、スタッフ一同、内外の技術者とも連携しながら技術指導に当たっております。



親睦もかねて十勝地方へ 視察にいつてきました

中春別農協女性部(齋藤道子部長)では部員14人が参加し、5月8日(月)から5月9日(火)にかけて1泊2日の宿泊研修に行ってきました。

新得町「サホロリゾートベアマウンテン」 お肌すべすべ「十勝川温泉観月苑」に宿泊

当日は曇り空で時々小雨が降っていましたが、そんなことはおかまいなしに迎えるのバスに乗り込み元気に出発。帯広に到着しホテルグランテスで昼食をとってランチバイキングに舌鼓、お腹がいっぱいになったところで再びバスに乗って最初の目的地新得町の「サホロリゾートベアマウンテン」へ。のぼりべつクマ牧場(登別市登別温泉町)の元園長、伊勢伸哉さんがここを訪れ「北海道の自然に生きるヒグマを見てほしい」との思いを強くしたのが、世界初のヒグマ専門のサファリパーク誕生の



お肌すべすべになるモール温泉に大満足でした

きつかけとなりました。ベアパークの飼育法に学び、検討を重ねて2006年、大雪山麓サホロ・リゾートの15ヘクタール(東京ドーム3.2個

女性部1泊2日 宿泊研修



おいしい料理に舌鼓

分)の林地にオープン。ガイド付きバスに乗り広い敷地内をぐるりと一周。途中バスを降りてヒグマが自然に近い状態で行動できるように、周囲には池や洞窟を設置しているガラス張りの観察施設に行き記念撮影。普段、間近で見ることが出来ないヒグマ(雄のみ口頭)を見て部員の皆さんカメラを片手に大興奮でした。

「サホロリゾートベアマウンテン」を後に、宿泊先の十勝川温泉観月苑へ。モール温泉には植物のエキスと岩石のミネラルの両方をたっぷり含み、他の植物性の温泉にはない化粧水のような保湿効果があるといい、部員の皆さんもさっそく温泉に入り、日頃の疲れを癒すとともに「肌がすべすべになった」と大満足でした。

帯広市「とかちむら直売所」を訪問

2日目は風があるもの、ちようど良いくらいに晴れの中、バスに乗り出発。目的地「とかちむら直売所」へ向かいました。とかちむらでは直産市場で朝に仕入れた新鮮な野菜、ここでしか買えない珍しい商品や、ちよつと変わったドレッシングなどが販売、また、農作業用のおしゃれな帽子を試着したりと、皆さんお買い物を楽しみました。その後、十勝ヒルズへ行き、到着するとガイドさんがお出迎えしてくれ園内を案内していただきました。花や景色を堪能した後、レストランヴィーヴスへ行き、メイン料理のマンガリッツア豚とオリブオイルをたくさん使ったコンフィをいただきました。これだけ油を食べても大丈夫なの? と不安な声があるほどオイルリーな料理でしたが、「この油は体にいいので血圧が上昇したり、太る心配もないので安心してください」との説明があり、安心していただきました。昼食を終え自由に施設内を歩き回り、養殖している豚や野菜ハウスを見て十勝ヒルズを満喫しました。

1泊2日の研修旅行でしたが部員同士の親睦も深まり、ゆつたりとした時間を過ごす良い機会となったのではないのでしょうか。参加された皆さんお疲れ様でした。



「とかちむら直売所」でお買い物

農協を訪れる人を美しい花がお出迎え

女性部農協前の花壇整備



農協前花壇整備を5月30日(火)に行いました。雑草抜きと土おこしを行った後、マリーゴールドやアリッサムなど7種類の花を植えていきました。

この日は午前中からとても暑く汗をかきながらの作業でしたが、部員のみならずは一所懸命手入れし作業が終了したところで、中春別ミルク王国のソフトクリームをいただきました。農協女性部では毎年部員の皆さんと一緒に花と緑に関わる活動として、1年を通して美しい花壇づくりを行っています。今後は草取り作業などの手入れが続けられて、いつまでも綺麗な花壇にしていけたらと思います。



花壇づくりに汗を流す部員の皆さん

お誕生日ハガキに使う押し花シールづくり

花壇整備終了後はお弁当を食べ、そよかぜのお誕生日ハガキで使う押し花シールを作りました。

立体的に見えるように植えるのがコツ

女性部寄せ植え講習会



好きな花などを組み合わせて立体的に…と挑戦中

ハートフラワーチャーリーさんの篠田ご夫妻を講師にお招きして、寄せ植え講習会を6月15日(木)に開催しました。

始めに篠田さんから挨拶をいただき「花を綺麗に植えるコツは立つ、這う、広がる花を組み合わせて植えると立体的に見えるて美しくなります。持ってきたハーブです朝、1〜2枚葉をちぎり玄



適切なアドバイスに耳を傾けハーブを組み合わせ

関に置いておくと、通るたびに香りがして気分ががりますよ」と教えていただき、部員からは「いいね、おしゃれ」などと声があが



ハートフラワーチャーリーさんの適切なアドバイスで美しく完成しました

り、それぞれ自分の好きな花・ハーブを組み合せました。講師の先生にアドバイスをいただきましたながら花の配置、色の組み合わせなど試行錯誤しながら素敵な作品を作ることができました。

花には人を癒し、笑顔にする力があることを改めて実感しました。途中、雨が降ったりしましたが無事に寄せ植え講習会を終了することができました。

青年部・女性部と農協の合同事業「牛乳乳製品消費拡大運動」を今年も6月13日(火)新千歳空港内東急百貨店で実施し、青年部4人、女性部2人が参加しました。

青年部・女性部・農協の合同事業「牛乳乳製品消費拡大運動」

消費者と接する 貴重な機会となりました

毎年恒例のJA・青年部・女性部合同の新千歳空港構内東急百貨店においての消費拡大運動も今年で7年目を数えました。今回の試飲・試食には、べっかい乳業興社の牛乳とコーヒー牛乳1ℓを各15本、飲むヨーグルト(プレーン)25本・いちご25本)を持っていき、無料試飲試食会を実施して参りました。今年はやさしいソーラン祭り最終日の翌々日。昨年はよさこいの最終日の翌日であったため人の集まりも心配して

いましたが、プラカードとモくちゃんの効果もあり人が集まり「いつも飲んでる牛乳よりおいしい」「あつさりしてるのにコクがあるね」と好評価。またシンガポールから来た方は「シンガポールでも北海道の牛乳はとても人気がある。けど普段は高価でなかなか口にできない」と話を伺えました。



また、別海町の知名度PRも同時に行うと「前にパイロットマラソンに出場した事があるよ」などと嬉しい声を掛けていただきました。

聞いたところ関東や関西、広島や海外はシンガポール、台湾、香港(印象としては国内6割、海外4割



ほどに感じました)からの来場者が試飲に足を止めていただきました。

試食・試飲していただいた方には、ミルクとシツパー、青年部オリジナルテッシュ。べっかい乳業興社の牛乳、コーヒー牛乳、飲むヨーグルト、さけるチーズを購入された方には、青年部ミニうちわ、青年部タオルを配布いたしました。

持ち込んだ試飲商品は16時すぎには無くなり、店頭に置いてあるべっかい乳業興社の商品も「平日の売上個数と比べると約7倍になり



ました」と東急百貨店様よりお礼の言葉をいただきました。また、近隣の店舗店員からも集客が多かったため目立ったのか「是非、当店でも実施して欲しい」と嬉しい声も聞きました。

消費拡大運動として実施した今回の試飲・試食会を通し、別海町の知名度を上げることができ、また、道外や海外の消費者と生産者を繋ぐ貴重な場にもなりました。

参加した青年部野矢部長は「最近では、国内の旅行者より海外(とくにシンガポールや台湾、香港など)からの利用者が多く、北海道の牛乳は人気が高い事が伺えました。別海町は生乳生産量が日本一という事もPRできました。こうして青年部と女性部合同で行う乳製品消費拡大事業はあまりないが、協力して連帯も深める事ができました。消費者と直接向き合えて、美味しいね」と言ってもらえると我々、生産者も励みになる。できるだけ多くの部員が経験できれば」と今後も消費拡大に積極的に取り組みます。

多くの参加者のもと 全議案可決される

国営環境保全型かんがい排水事業

別海北部地区環境保全推進協議会総会

別海北部地区環境保全推進協議会(小野榮一会長)では、5月26日(金)JA中春別農業者団地センターにおいて通常総会が開催されました。

当日は各ブロック理事及び釧路開発建設部、別海町役場より多数の出席者の中

で開催され、議長には豊原ブロックの伊藤理事があたり全議案可決承認されました。釧路開発建設部からは昨年までの事業進捗状況、29年度の事業実施計画について説明され、別海町役場からは太陽光発電の売電状況などについて説明がされました。

平成29年度の新役員構成は次の通りです。

会長 小野 榮一
(中春別)

副会長 橋本 明雄
(上春別北)

副会長 中垣 博志(本別)

理事 伊藤 一吉(豊原)

理事 加藤 真純(美原)

理事 坂野下貴志(別海)

理事 羽石 健一
(上春別南)

理事 多田 稔
(西春別)

理事 石毛 剛
(計根別)



生産者の声を 中央へ届ける活動

中春別酪農対策協議会
第42回通常総会

5月31日(水)

中春別酪農対策協議会(伊藤一吉会長)では、農業者団地センターにおいて第42回通常総会を開催いたしました。

開会にあたり伊藤会長より今後の運動展開にあたっては、7月と11月に農林水産省生産局との意見交換を

実施し、合わせて道内選出国会議員への要請活動を行ない、環境保全対策や担い手対策、畜産クラスター関連事業等、生産者の声を中央へ届ける活動に努めてきた事、日頃より会員各位の特段なるご理解と協力に感謝を申し上げます。引き続き農協を代表して西川副組合長理事、来賓を代表して西原町議より酪農情勢を交えたご祝辞をいただき、議事へと移りました。

議長には豊原地区の田口豊次氏が選出され、議案第1号から4号まで全て可決承認されました。

平成29年度の新役員構成は次の通りです。

会長 伊藤一吉(再)

副会長 高橋真悟(再)

副会長 浮川 優(再)

副会長 中村貞志(新)

会計 小西祐司(新)

監事 島崎 清(再)

監事 西牧 健(再)

監事 山本広行(再)

本年度も会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



根室地区青協、北海道教育大 釧路校生ファームステイ受入事業

今年で5年目を迎え、昨年までに100人を超える学生が参加している根室地区青年部協議会主催の教育大生ファームステイ事業が、5月26日(金)～28日(日)にかけて開催されました。管内の青年部員が受け入れし、当地区は、豊原地区の野矢貴志さんと中西裕哉さんの2戸で各2人の教員を志す教育大生がファームステイ体験を行いました。

教師の卵に農業体験を

初日はJAけねべつで入村式が開かれました。事前学習会では地区青協役員より、「牛の一生」や「牛乳が家

庭に届くまで」について説明があり真剣にメモを取りながら講義を受け入れていました。



固く握手を交わした学生と受け入れ農家の顔合わせ

入村式では根室地区会長の乾会長、JAけねべつの西塚組合長より期待を込められた挨拶がありました。

その後、受け入れ盟友と学生の顔合わせが行われ、しっかりと握手を交わして入村式が終わりました。

牧場に着き1



搾乳手順を教わりながらの作業

泊2日の酪農実習が始まり、初めての農作業体験へ。ひとつひとつの作業の意味と目的、注意点を説明を受けながらの体験。特に学生が前々からやってみたかったという搾乳作業、ミルク1装着に慣れないうちは苦戦しながらも、最後のほうは「もう上手くできるね」と言われるようになりました。受け入れ農家の家族と夕食を囲み、初めての農作業体験の家族と共にして1日目を終えました。

泊2日は、朝早くに牛舎に向かう学生の姿。前日の作業手順を思い出し、スムーズな手つきで早々と作業を終えました。昼からは、お世話になった農家に中標津の文化会館「しるべつ」とまで送っても

いろいろイメージと違った「普段は牛に触れることが無いので、この経験を活かして食べ物生産者としての目線に立つてみたかった」との感想。

2日目は、朝早くに牛舎に向かう学生の姿。前日の作業手順を思い出し、スムーズな手つきで早々と作業を終えました。昼からは、お世話になった農家に中標津の文化会館「しるべつ」とまで送っても

女性部との料理教室に参加。

料理教室では、女性部のみなさんから「ミルクもち」と「チーズせんべい」の作り方を教わり、宿泊先の川北ふれあいセンターへ向かい振りかえり講義を行い、体験を

終えた仲間達と語り2日目を終えました。

3日目の最終日、振りかえり発表会が行われ、学生各々が体験前のイメージと体験を終えた感想を発表しました。その後、受け入れ農家との交流会を昼食のパーベキューを囲みながら、受け入れ時に話しができなかった事などいろいろと話しながら、受け入れ事業を終えました。



慣れない牛も2人で協力して作業すれば怖くない！

夏の放牧管理 (栄養管理) について

今年の放牧開始時期について

今年春先の牧草の生育が良く放牧開始も例年より1週間程早くなっているようです。

採食量の変化

図1は大牧区で管理している根室のある農場で調査した「放牧期間中の草量と1日当たりの採食量の推移」です。8月以降は草量が減少し、採食量も低下していました。

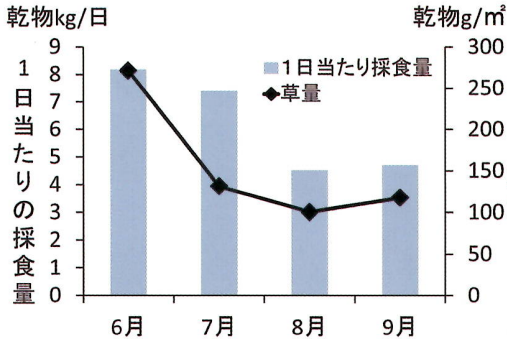


図1 放牧期間中の草量と1日あたり採食量の推移 (普及センター調べ)

た後にその区へ牛を放すなど常に短草利用で栄養価の高い放牧草を利用できるようにし

ましよう。

図2は別海町の3農場と農業試験場の放牧地のチモシーの粗飼料分析結果です。

牧草は生育とともに繊維含量が増加し、消化率が低下します。図2のC農場は放牧草が伸



写真1 放牧地の草が伸びた状態

びていたため、7月の繊維が特に高くなっています。

掃除刈り後、繊維は低くなりますが、その後9月以降になると徐々に高くなる傾向にあります。そのため短草利用することが必要です。

一方、放牧地を小牧区で管理している場合は草量不足にならないよう牧区の移動や一番草刈り取り後の草地を兼用地として入れるなど牧区の拡大も必要です。

放牧草の栄養価の変化と乳質

牧草の栄養価は牧草の伸び、季節や草種(マメ科が多い・少

ない)により変動があります。短草の放牧草のタンパク質

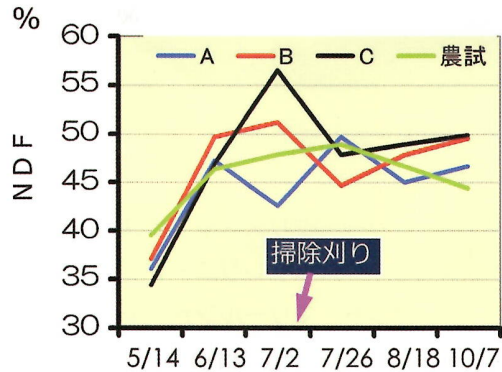


図2 平成20年調査結果 繊維(NDF)の推移

は概ね20%前後あります。

旬報や乳検で MUN(乳中尿素態窒素)の上昇がみられ、体細胞数も上昇している場合はタンパクの過剰摂取が疑われます。

牛が過剰に摂取したタンパク質は微生物蛋白質に合成される以外は大量のアンモニアとなり肝臓で解毒されます。肝臓に負担がかかると、牛の免疫力が低下し、乳房炎の発生等色々なロスが出る場合があります。

乳脂肪率の低下は牧草の繊維不足や採食量の低下などが原因となります。

併給飼料を使用した対策



写真2 給水車の利用

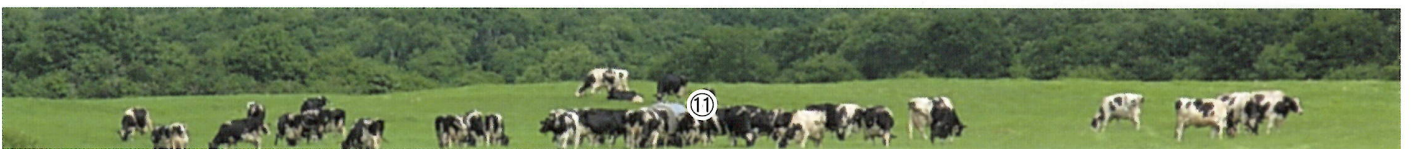
汗や尿としてミネラルも失われます。固形塩等も忘れないようにし、夏の放牧を乗り越えましよう。

その他の栄養管理

MUNの上昇による肝機能の低下から乳房炎などが疑われる場合は、飼料中のタンパク濃度を下げるよう配合飼料の一部を圧ペンコーンに置き替える等して調整します。但し、圧ペンコーン(澱粉濃度約70%)は澱粉含量が配合飼料(澱粉濃度約38%)より高いため、アシドーシスにならないよう給与量に注意が必要です。

乳脂肪率が低下する前に乾草などの粗飼料の増給も検討ましよう。

気温が上がると飲水量が増加し、搾乳牛では1日100リットル以上水を飲むと考えられます。給水車を使用している放牧地では水不足に気をつけましよう(写真2)。



根室ブラック&ホワイトショウ

ショウシーズン開幕!

若手の活躍が目立ちました

中標津町ホクレン根室地区家畜市場において、今シーズンのショウの開幕となる平成29年根室ブラック&ホワイトショウが5月13日(土)行われました。

審査員には地元中標津町で酪農を営まれ、ショウシーズンのみならず審査員としても活躍され、根室ホルスタインを牽引する中川将氏が務められました。また、デーリープリンセスには(株)なかしゅんべつ未来牧場研修生の石黒瑞歩さんが務めショウに花を添えました。

総出品頭数64頭、当同志会からは5頭が出品され、宗像卓朗さん出品の「セイコー ロクセツト スタンドアウト」がインターミディエイト・チャンピオンに、寺澤佳吾さん出品の「プロミネンス パラゴン クリステイナ アイオーン」がリザーブ・インターミディエイト・チャンピオンに輝きました。

また、同志会対抗戦では

2位に入り、今シーズンのショウへ弾みをつける活躍を見せました。



尻尾の仕上げ

真剣な眼差し



チャンピオン牛を囲んで



天気に恵まれたショウでした

中春別乳牛改良同志会出品牛成績

No.	部	順位	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
1	1	10	ソーンリー	クリスタル ビュー	H28.9.11	レーガंकレスト ビュー ET	佐々木靖裕
2	2	2	プロミネンス	プレリユード ミス ブラゼル	H28.6.18	アロースター ブラゼル ET	寺澤 佳吾
3	2	9	プレザント	マリールンド チャツク ガール	H28.7.28	スタントنز キャピタル ゲイン ET	中西 裕哉
4	10	2	プロミネンス	パラゴン クリステイナ アイオーン	H25.12.14	ミッドフィールド CCM アイオーン	寺澤 佳吾
5	10	1(BU)	セイコー	ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	レーガंकレスト S プラクストン ET	宗像 卓朗

平成29年根室ブラック&ホワイトショウ チャンピオン牛

	部	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
グランド・チャンピオン	12	グローリーランド	ベツスリリー ハツドリ	H24.11.5	プレイテール ゴールドウイン	JA道東あさひ別海 酒井 保幸
リザーブ・グランド・チャンピオン	10	セイコー	ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	レーガंकレスト S プラクストン ET	JA中春別 宗像 卓朗
シニア・チャンピオン	12	グローリーランド	ベツスリリー ハツドリ	H24.11.5	プレイテール ゴールドウイン	JA道東あさひ別海 酒井 保幸
リザーブ・シニア・チャンピオン	12	スターフィールド	ヒンベル テイブ ネス レイラ	H24.10.12	リル ドルー テンプシー	JA計根別 星野 淳
インターミディエイト・チャンピオン	10	セイコー	ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	レーガंकレスト S プラクストン ET	JA中春別 宗像 卓朗
リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン	10	プロミネンス	パラゴン クリステイナ アイオーン	H25.12.14	ミッドフィールド CCM アイオーン	JA中春別 寺澤 佳吾
ジュニア・チャンピオン	4	センターランド	チャンプ ロウ プロウカウ	H27.12.11	ミスター アットウッド プロカウ ET	JA道東あさひ別海 中川 佳代
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	1	アースイースト	フラワー マカチエン フタゴ	H28.9.7	デス BKM マツカチエン 1174 ET	JA中標津 佐々木宏之

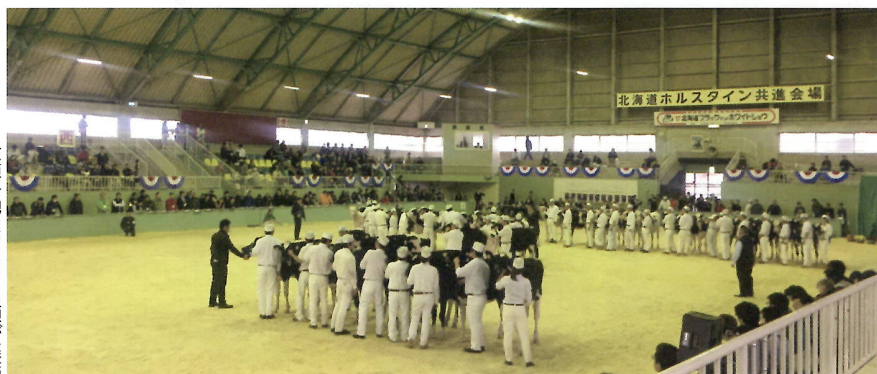
続いて5月27日(土)、28日(日)の2日間にわたり、安平町早来北海道ホルスタイン共進会場において2017北海道ブラック&ホワイトショウが開催されました。

審査員にはアルタジャパン(株)代表取締役細野淳氏が務め、総出品頭数276頭(ジャージー種含む)の中、各部ハイレベルな戦いが繰り広げられました。

根室管内からは16頭が出品され、当同志会からは寺澤佳吾さん久保光大さんの2人が2頭を出品し、惜しくも上位に入らなかったものの、全道という大舞台で堂々たるリードをしていました。

グラント・チャンピオンには上士幌町・吉田智貴さん出品の「ハツピーライン」ダミオン エンジニア、リザーブ・グラント・チャンピオンには大樹町 穀内隆志さん出品の「エンブレム K GC エリーティア」が輝き、会場中から大きな拍手、歓声が贈られました。

ショウの技術や飼養管理技術が次世代を担う若手酪農家に継承され、中春別の活躍が目立ってきました。さらなる成果を掴み取るため、これからの活躍に期待したいです。



全道各地よりの6頭が集結



堂々たるリード



若手の活躍が目立ってきました

2017北海道ブラック&ホワイトショウチャンピオン牛

	部	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
グラント・チャンピオン	10	ハツピーライン	ダミオン エンジニア ET	H26.1.4	アーバクレス ダミオン	上士幌町 吉田 智貴
リザーブ・グラント・チャンピオン	10	エンブレムK GC	エリーティア	H26.3.6	ミスター チヤンティアー ゴールド チップ ET	大樹町 穀内 隆志
シニア・チャンピオン	13	TMF セブテニー	チーズ アットウッド フォーゼ ET	H23.8.27	メープルダウンスアイ G W アットウッド ET	清水町 (有)田中牧場
リザーブ・シニア・チャンピオン	13	グラウンダー	アストロ ルディー ロイ	H24.4.14	UFM-ダブス ゴールドロイ ET	北広島市 岩田 政彦
インターミディエイト・チャンピオン	10	ハツピーライン	ダミオン エンジニア ET	26.1.4	アーバクレス ダミオン	上士幌町 吉田 智貴
リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン	10	エンブレムK GC	エリーティア	H26.3.6	ミスター チヤンティアー ゴールド チップ ET	大樹町 穀内 隆志
ジュニア・チャンピオン	1	エルムレーン	SF ブレーク エレガンス	H28.9.1	ウオールナットローン ブレーク ET	恵庭市 (有)福屋牧場
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	4	エルムレーン	ゴールド マツカチエン パラダイス	H28.1.2	デス BKM マツカチエン 1174 ET	恵庭市 (有)福屋牧場



第34回 2歳クラス(乳器)

ホルスタイン写真 コンテスト

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)では、毎回好評でありますホルスタイン写真コンテスト2歳クラス(乳器)を行いますので、投票要項に注意して

お早めに応募して下さい。

予想投票応募要項

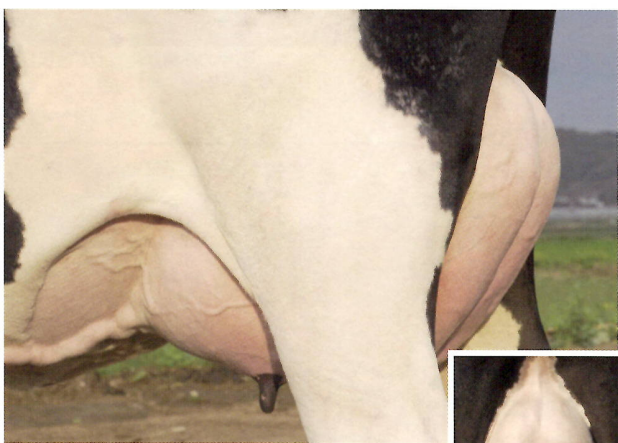
1. 同封しています予想投票用紙に4頭の乳器(側望、後望)に序列付を行い、その牛の該当記号(A~D)を記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈致します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定致します。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、投票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募の切は、8月11日(金)となっておりますので期日厳守にて応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は9月号で発表致します。



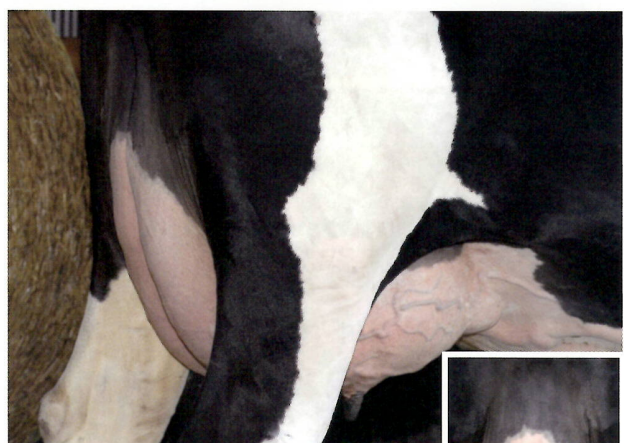
A



C



B



D

JA中春別 乳牛共進会

秋のショウリングへ期待！

手塩にかけた 愛牛たちが競い合う

平成29年度JA中春別乳牛共進会が6月3日(土)に(株)かしゅんべつ未来牧場共和育成センターにて開催されました。

開催に先立ち牛魂祭及び農作業安全祈願祭が執り行われました。

当日はあいにくの雨模様で肌寒い天候ではありましたが、出品者の皆様が手塩にかけて育てた36頭の牛が出品されました。審査員には(二社)ジエネティクス北海道道東事業所次長・間木野尚司氏が務められ、丁寧な審査講評に観客、出品者の方々も真剣に聞き入っていました。リング上に綺麗な花が飾られた中、1部から10部まで審査が行われシニア・チャンピオンに宗像卓朗さん出品の「セイコー ロクセツト スタンドアウト」が2年連続で選ばれ8部の審査でベストアダーを獲得する素晴らしい乳器とフレームが極めて優れた牛で

した。また、ジュニア・チャンピオンには山田侑甫さん出品の「YMD リディア ジャスパーウツド ユリアナ ET」が選ばれ非常に各部、鮮やかな身体を持ち輪郭のはっきりとした質感の良い牛でした。ショウの途中には、ジュニアリードマンショウや女性リードマンショウも行われ、特にジュニアリードマンショウでは子供達が一生涯命牛を引く堂々とした姿に観客の皆さんも温かい目で見守っていました。

また、お昼には青年部によるサイコロステーキ、女性部によるミルク豚汁の無料提供など会場からは「心も体も温まった」との声が上がり終始笑顔が絶えませんでした。

出品された皆様は春の共

進会も一段落されたことと思えますが、秋の共進会でも中春別ホルスタインが1頭でも多く活躍することを期待したいと思います。



審査員の間木野尚司氏とデーリクイーンの西澤さん(左) 佐々木さん



チャンピオン牛

JA中春別乳牛共進会各部1等1席

部	名	号	生年月日	父	牛	出品者
1	SBF スカーレット IT	バレンシア	H28.10.11	レーガングレスト	アルタイオタ ET	竹田 潤
2	YMD リディア	ジャスパーウツド ユリアナ ET	H28.7.17	メープルダウンスアイ	G W アツウツト ET	山田 侑甫
3	ファインビュー	セイバー アバロン	H28.5.25	フアーニアー-TBR	アルタアバロン ET	島山 吉男
4	プレステージ	パット マリー デイオン	H27.12.23	ジレット	ティーウェーブ スパークリング ET	久保 光大
5	プレゼント	マリールンド メープル ガール	H27.9.26	メープルダウンスアイ	G W アツウツト ET	中西 裕哉
6	プロミネンス	リツキー マツカチエン	H27.8.9	デスー	BKM マツカチエン 1174 ET	寺澤 佳吾
7	リディア	クイーン メープル オブ YMD ET	H26.12.1	メープルダウンスアイ	G W アツウツト ET	佐々木靖裕
8	セイコー	ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	レーガングレスト	S ブラクストン ET	宗像 卓朗
9	ライブリー	スポツテイ スカイウインド	H25.1.8	ジレット	ウインドブルック ET	山田 光男
10	プレゼント	ジャツキー クリス ファイバー	H23.10.26	クラツクホーム	ファイバー ET	中西 裕哉

シニア・チャンピオン	セイコー ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	宗像 卓朗
リザーブ・シニア・チャンピオン	ライブリー スポツテイ スカイウインド	H25.1.8	山田 光男
ジュニア・チャンピオン	YMD リディア ジャスパーウツド ユリアナ ET	H28.7.17	山田 侑甫
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	プレステージ パット マリー デイオン	H27.12.23	久保 光大

最多出品賞 寺澤 佳吾さん(5頭出品)

新人賞 山田 侑甫さん

最優秀ジュニアリードマン 小幡 ゆんさん(保護者:小幡直人さん) 参加者13人

最優秀女性リードマン 1位 石黒 瑞歩さん 2位 山田 千花さん 3位 佐々木 貴子さん 参加者11人



綾小路きみまろの ライブで爆笑の旅に!

J A中春別年金友の会では、綾小路きみまろのライブをメインに札幌・旭川方面に5月28日(日)〜30日(火)の2泊3日で春季旅行に行ってきました。

1日目

綾小路きみまろライブの漫談を楽しみました

中標津空港から新千歳空港に向かつて出発。パラパラと小雨が降る中、バスガイドさんのユーモア溢れる話

しを聞きつつ札幌市内に移動し、札幌全日空ホテルにてランチバイキング。お腹いっぱいになったところでニトリ文化ホールに移動し、今回の旅のメインである綾小路きみまろのライブに行きました。指定席であり、昨年



末にチケットを抑えていたので、前方の席に座ることができました。約2000席ある会場は満席でした。漫談を楽しみ、終始笑いの絶えないライブでした。北海道神宮では雨が降る中、お参りをさせていただきました。札幌東急REIホテルで1泊して1日目終了。

2日目

上野ファーム・旭山動物園を見学

1日目とはうって変わって晴天の中、バスで朝早く旭

川に移動。上野ファームはいろいろな植物があり鮮やかな花色で素敵でした。昼食は旭川ラーメンを堪能しました。午後は旭山動物園でたくさん動物をみました。園内には70歳以上の方が限定ですがバス移動が出来、遠く離れたところまで見に行かれた方もいました。宿泊先の旭岳万世閣ホテルベアモンテに移動中、山の中はまだ雪が積もっていました。料理と温泉を楽しみ2日目終了。

3日目 まだ1mの積雪・旭岳姿見取

3日目も晴天の中、旭岳ロープウェイに乗り、旭岳姿見取に到着。積雪は100cmと、一面、真っ白で冬にさかのぼったかのような景色で

した。ゆにガーデンに移動し昼食をとりました。新鮮で旬な野菜を堪能し、食後はバスで広大な敷地を1周してきました。シーズンより少し早かったか、色とりどりの花はあまり見られませんでした。これから咲くぞという感じはあり、充分にきれいでした。

楽しい旅も終わり、新千



歳空港を出発して中標津空港に到着。2泊3日の旅お疲れ様でした。会長をはじめ参加者の協力のもと体調を崩す方もなく無事終了できました。本年度の旅行は以上となりませので、また来年も元気良く旅行に行けるよう参加をお待ちしております。

年金友の会 第33回通常総会

の促進と、年金友の会のメイ
ン行事である旅行ですが、
今年度から年1回とし、5
月28日(日)から2泊3日の日
程で春季旅行に行きました
ので、今年度の旅行はこれで
終了しました」と報告があ
りました。続いて小湊保代
表理事組合長、北海道信連
釧路支所川越良則課長より
祝辞をいただきました。

総会進行にあたり、中春
別地区の出田精司さんを議
に1回の役員改選の年であ
り、新役員は以下のとおり



開会を高橋会長の挨拶か
ら始まり、「会員が年々減少
しているので新規会員加入

長に選出し、スムーズな進
行で全議案承認され終了し
ました。なお、今年度は2年



新規の仲間たちを増やし、 活力ある年金友の会に

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、6月5日(月)
に中春別ふれあいセンターにて第33回通常総会を開催しま
した。

となりました。

- | | |
|-----|-------|
| 会 長 | 高橋 昌晴 |
| 副会長 | 田口 正己 |
| 〃 | 尾形 春雄 |
| 〃 | 平間 勉 |
| 会 計 | 鈴木 郁夫 |
| 幹 事 | 南澤 明子 |
| 〃 | 山口ツル子 |
| 〃 | 関口 和子 |
| 〃 | 木戸口幸子 |
| 〃 | 木村 和子 |
| 監 事 | 中村與之進 |
| 〃 | 平林美知子 |

総会終了後は中春別ヘル
スパークにてスポーツ交流
会を行いました。パークゴル
フとゲートボールを行う予
定でしたが、ゲートボール
は参加者が少なく、パーク
ゴルフのみとなりました。日
差しはあつたものの肌寒い
天気の中でのプレーとなり
ました。また、連日の雨によ
り芝生が伸びた状態で、力
いっぱい打つてもボールが失
速してみなさん苦戦してい
ました。それでも、離れた距
離からカップに入れていて
方が何人もいて日頃の練習
の成果に驚きました。元気ハ
ツラツと仲間同士笑顔いっ

ばいでパークゴルフを楽し
みました。



グランド全開で 駆け抜ける

その台車の上
に子供を乗せて、お父さ
ん、お母さんたちが押しなが
ら疾走、子供たちはガタガタ揺れる台車の上で振
り落とされないように必死に捕まりゴールを
目指しました。また、2年生によるカードに書
かれたお題をクリアし、サイコロを転がし出た
目の数だけビニールテープを服に貼付けるに
じいろあつめ「競技」子供たち全員がパワー全
力でがんばりました。

「大玉リレー」では大きな赤玉、白玉を2人
組で息を合わせながら転がしながら競うリレ
ー。思うように大玉が転がってくれず悪戦苦闘
する子供たちもいれば、ピタリ息が合って次
の走者へ渡すなどハプニングも続出で、応援に

予定されていましたが6月4日(日)が雨のため、
翌日の5日(月)に延期し多くの保護者、関係者な
どが見守る中、「中春別小学校大運動会」が開催
されました。

最初に全校生徒によるラジオ体操で体をほ
ぐした後、児童2人による選手宣誓が行われ、
いよいよ「大運動会」がスタートしました。始め
の種目は1年生から6年生までの徒競走、見守
る保護者も身をのり出してこの声援を背にうけ
「ゴールを駆けぬけました。」

1、2年生の親子による「トラック野
郎」の競技は赤、白それ

1、2年生の親子による「トラック野郎」の競技は赤、白それ

1、2年生の親子による「トラック野郎」の競技は赤、白それ



ゴールへ向かって大地を
駆け抜きました!

お父さんもお母さんも
パワー全開!猛ダッシュ

も一段と力がいり会場全体が接戦で熱い戦いとなりました。今年度は白組が優勝しました。

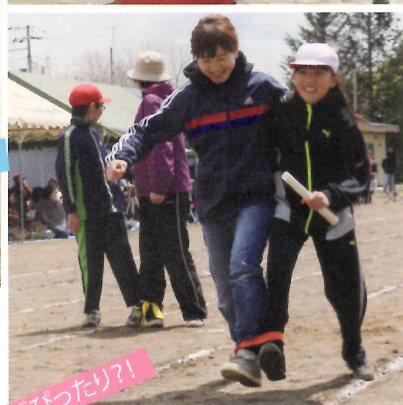
保護者と一緒にする競技もあり、親子の絆がぐんと深まったのではないのでしょうか。全児童が真剣に取り組み、あきらめることなくがんばりました。中春別地域の方の参加と応援に地域が一体となった「大運動会」でした。



汗を流し、笑顔がはじけた各競技



思うようにいかない大玉に
手こずりながら全力で取り組んでいます



親子の息がぴったり?!



新職員の紹介

3カ月間の試採用期間を終え、7月1日付けで新採用になりました職員を紹介します。

人との関わりを大切に



係振興課 係振興課 係振興課 係振興課
佐々木 捺希

3カ月間の試採用期間を経て、この度、営農部営農振興課に配属となりました佐々木捺

希です。試採用期間中は3カ月間、営農部営農振興課での業務を行いました。内容としては、主に事務作業や、現地での業務、青年部の事務局の業務など、いろいろと勉強になることばかりでした。最初の内はわからないことが多く、毎日、常に緊張をしながら業務を行っていました。ミスが多く先輩方には沢山迷惑をかけてしまいました

が、励まして下さる先輩がいたことで、気を落とさずに業務を遂行することが出来ました。営農振興課で業務を行って感じたこととして、コミュニケーションをとる事が大事だとわかりました。外部の人や組合員、他の部署の方々と連携して行う事業などもあり、いろいろな人と関わる機会が多く、コミュニケーションの大事さを身にしみ

てわかりました。人との関わりを大切にこれからの業務に遂行したいと思います。3カ月を通して、4月1日の朝礼で挨拶をした際に、「積極性と挨拶にこだわること話しました。この2つについては、3カ月間実行できたと思いますので、これからも継続して行っていくきたいと思います。しかし、元

じましたので、これからは少しでも改善したいと思います。最後になりますが、3カ月間の試採用期間で学んだことを少しでも活かし、これからもみなさんにご迷惑をおかけすると思いますが、農協や組合員のみなさんのために貢献できるように、一生懸命頑張りますので、これからよろしくお願ひします。

研修を通して学んだこと



係管理課 係管理課 係管理課 係管理課
佐々木 梓

3カ月の試採用期間を終えて、この度、新採用となりました佐々木梓です。新採用期間中は、4月5日～12日の8日間、JAカレッジで研修をさせていただきました。

研修では、いろいろな事が基礎から学べる大切な研

修なのでしつかり身に付けようと思ひ研修に挑みました。

8日間と短い間でしたが、たくさん学んだことを学ぶことが出来ました。聞いたことがあったコンプライアンスやマナー以外に社会のルールや、信頼される組織を作り上げる基礎ということを学び、マナーでは、礼や様になる対応を実際に行い、直接講師の方に指導いただくことが出来ました。他にも、お茶の出し方や身なり、電話対応も本場の流れと同じく実践しました。パソコンでの作業では、文章を作成す

るときに便利な機能や、社外文書と社内文書の違いを学びました。他にも仕事をを行う上で必要なコミュニケーションの大切さや、健康管理なども学びました。

そして1番時間をかけて学んだ農協簿記は、高校生の頃学んだのとは勘定科目が少し違っていて覚えるのが大変そうでしたが、長い時間、学んでみて理解できたり、また、1から学び直すことが出来ました。実践をしたり協力し合い、いろいろな学んだことはこれからの仕事の中で、活かしていきたいと思っています。私は、JAカレ

ジで学習面以外にも、初めて会った人と話すなど、人との関わり方もとても重要なことだと思つたので、それを仕事でも重視していきたいです。

研修以外にも管理課として学ばせていただきました。なかなか円滑に仕事が進まない私に1つ1つ丁寧に指導してくださいました。これからは仕事内容も早く覚えて、円滑に作業がこなせるよう一所懸命頑張ります。まだまだ未熟で迷惑をかけてしまうかもしれませんが、JAカレッジで学んできたことや、この試験採用



期間中で学んだことを忘れず活かしていきたい、農協職員として信頼されるよう頑張つていきます。

清潔感と快適な空間がある 株グリーンランド標津

豊原酪農振興会
視察研修

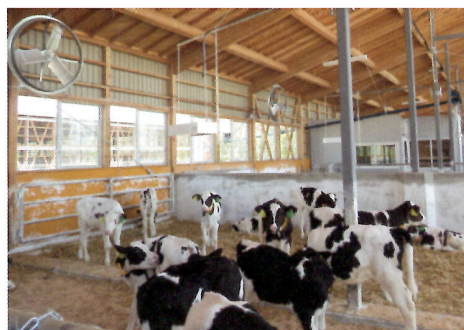
豊原酪農振興会(中村貞志会長)では6月9日(金)に視察研修が開催され、振興会会員と家族で総勢39人が参加しました。



(自グリーンランド標津の潮専務より詳しく説明していただきました)

当日は晴天にも恵まれ、株式会社グリーンランド標津を視察しました。グリーンランド標津は、JA標津の子会社として、平成29年2月末に施設を新設し、同年4月より預託受け入れを開始。施設はトド山地区と崎無異地区の2カ所からなり、生後3日目の乳牛雌牛をトド山地区で導入し、10カ月を目途に崎無異地区へ移動するシステムとなっております。今回の視察ではトド山地区の施設を視察しまし

た。株式会社グリーンランド標津の施設規模としてトド山地区では、哺育部門(3〜60日)で150頭、育成部門(2〜9カ月)で490頭の受け入れ、崎無異地区では、育成部門(10〜22カ月)で480頭の受け入れを行い、常時1100頭ほどの預託規模となっております。今年4月から受け入れが始まり、牛舎は木造の平屋となっており、まだ2カ月ほどしか使用していないため、清潔感があり過ごしやすい空間となっております。施設案内には、潮専務に案内していただきました。施設内の牛舎をそれぞれ



新築施設で新しいのびのび過ごす哺育群

れ見て回り丁寧に説明をしていただきました。視察後は、焼肉ジュージューにて昼食を美味しくいただきましたながら、会話もはずみ和やかな中、収穫作業が始まる前の休息となり、大変有意義な視察研修となりました。

信頼される職員に



総務部 金融共済課 貯金係
にしぎわ まゆか
西澤 舞由花

1日付けで新採用となりま

試用期間を経て、7月
した西澤舞由花です。
3カ月間の試用期間では様々な課をまわり、学ばせていただきました。ガソリンスタンドでは、最初の研修場所ということもありとても緊張しましたが、職員の方々や組合員のみなさんがスタンドの事務所内で仕事をしている時や、車の

窓を拭くときに話しかけてくださり、少しずつ緊張がほぐれていきました。
購買課では基本的な事務作業や、電話対応について教えていただきました。店舗での研修では接客業務ということもあり、様々な人と関わる機会が多く、ますます重要なことは明るく挨拶を

するということを学びました。金融共済課では最後に研修をさせていただきました。配属することとなりました。覚えなければいけないことがとても多く、慣れない端末作業などで混乱してしまいうことがあったのですが、先輩方が優しく丁寧にアドバイスをいただきました。

この研修期間で多くのことを学ばせていただき大変感謝しています。これからご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、少しでも役立てるように、先輩たちを見習ってテキパキと仕事をこなせるように頑張りますので、よろしくお願います。

草地を見るきっかけづくりに



生産者自らの圃場(草地)にもっと目を向けてもらおうと良質粗飼料生産利用対策委員会(山崎浩二委員長)は5月26日(金)に(同)グリーンコンプライトサービスで現地研修会を実施し組合員、従業員、みらい塾生の合計16人が参加しました。

草地管理を適正に行い、牧草を最大限に活用するために、草種の見分け方を一から学び直そうと、今回の研修会を開催



に至りました。根室農業改良普及センターから内田主査、小川主査、宗像普及員、久保田普及員に講師を務めていただきました。

草地に入ると参加者16人が2班に分かれ、それぞれに草種(葉耳、葉舌の確認、地下茎の有無を確認した)の見分け方から、管理方法、収穫の適期の話に耳を傾けていました。参加者からは「見分けられると思っ

ていたシバムギでもわからなかった」「うちに生えているものと違うという発見がある」「これは葉耳、葉舌がわかりづらいね」と聞こえてきました。常にいろいろな質問が飛び交い、情報交換をしながら参加者は理解を深めていました。

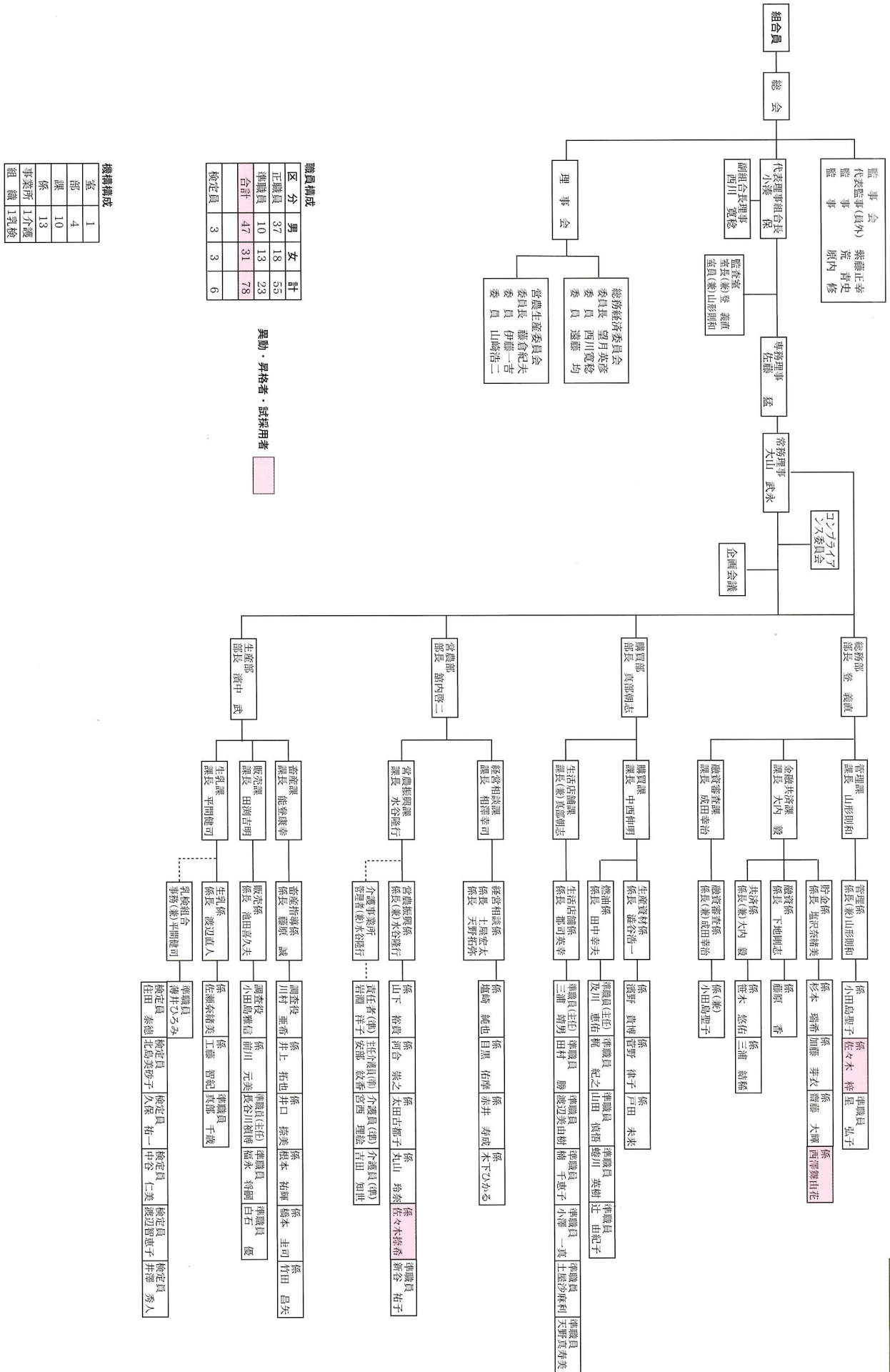
強力雑草メドウフォックステイル(MFT)への対策。

部分的にMFTが侵入している場合の対策①発芽能力を有する種子が作られる前(6月中旬頃まで)に、MFTを抜き取る。②路肩に生えているMFTが草地に侵入してくることも多いため、路肩も確認する。「広範囲に侵入している場合」①草地更新を検討する。(ただし、従来の更新方法では完全には防除できません)

②モアコンなどの作業機に付着し、他の草地へ持ち込んでしまう可能性もあるため、MFTがある草地の作業を一番最後にするか他の草地に入る前に足回りをよく掃除する。

JJA中春別 組織機構図と職員配置図

平成29年7月1日現在



職員構成

区分	男	女	計
正職員	37	18	55
準職員	10	13	23
合計	47	31	78
特定員	3	3	6

異動・昇格者 試用者



機構構成

室	1
部	4
課	10
係	13
事業所	1介護
組織	1乳飲

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



日EU・EPA交渉が大枠合意に至る可能性が高まっていることから、6月14日「日EU・EPA交渉から北海道農業を守り抜く要請運動」を実施し、日EU等経済協定対策本部（自民党）の幹部役員、道内選出与野党国会議員及び農林水産省に要請を行いました。乳製品、豚肉、小麦粉調製品、馬鈴しょ、でん粉等が大きな焦点になると想定されますが、十分な情報提供がないまま大枠合意に向うことに大きな不安が広がっています。引き続き、政府・与野党に対して衆参農林水産委員会決議（H28・12）に基づき、農林水産物重要品目の再生産を可能とする国境措置の確保や交渉内容・進捗状況について丁寧な情報提供を求める運動を展開していきます。



JA北海道信連

5月に、JA窓口職員のスキルを向上し、JA窓口をご利用いただく皆様のニーズに添えていく事を目的に「JAバンク北海道窓口セールスコンクール」を開催しました。

当日は、各地区の予選等を突破した16人が「年金指定替部門」、「純新規推進部門」の2部門で接客や提案力を競いました。JAバンク北海道では、コンクールを通じて、より一層のお客様の満足度向上を目指して参ります。



ホクレン

ホクレンは、酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施しておりますが、平成29年度から和牛繁殖農家の皆様に対する事業「冬期子牛飼養環境向上支援事業（和牛版）」を始めました。具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。詳しい日程・事業内容については、JA担当課へ問い合わせください。



JA共済連北海道

社会貢献活動の一環として、昭和50年から継続して道内各自治体へ救急自動車を寄贈しています。道庁総務部の危機対策課へ寄贈先の選定審議を依頼しており、今年度は4台を寄贈予定。今年度の寄贈が完了すると累積寄贈台数は記念すべき200台を超え、2020台を数えることとなります。今後も行政やJAと連携を図りながら交通事故防止と被害者救済への取組みを強化し皆様のために貢献して参ります。



JA北海道厚生連

北海道厚生連では、イメージキャラクター「コウセイくん」を制作しました。医療をイメージした白に北海道の緑を取り入れた、のんびり優しい性格のシロクマくんです。今後、様々な場面で登場しますので、癒されるキャラクターとして親しんでいただきたいと思います。



JA2MP（ジェイエイジャンプ）アプリで北海道厚生連を検索すると「コウセイくん」が登場しますので、皆さん是非会いに来てください。

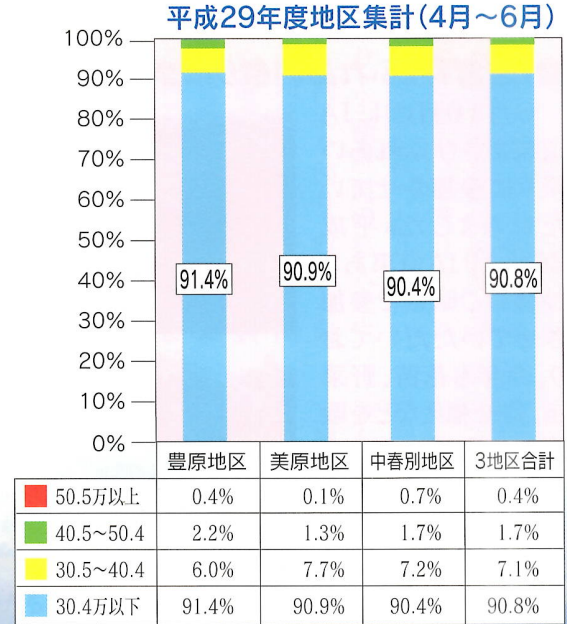
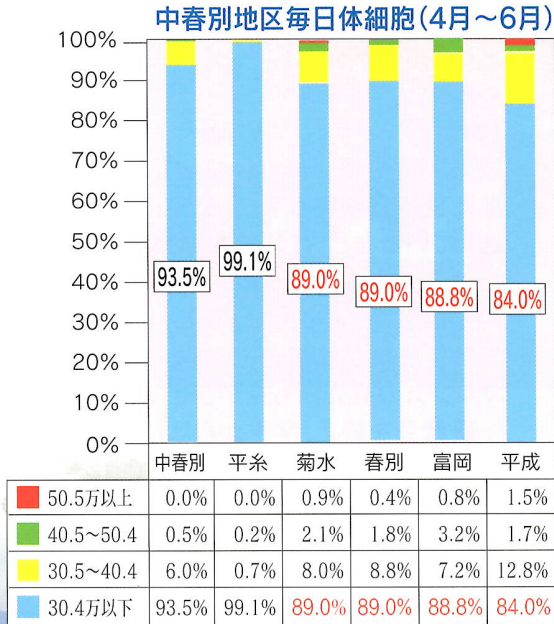
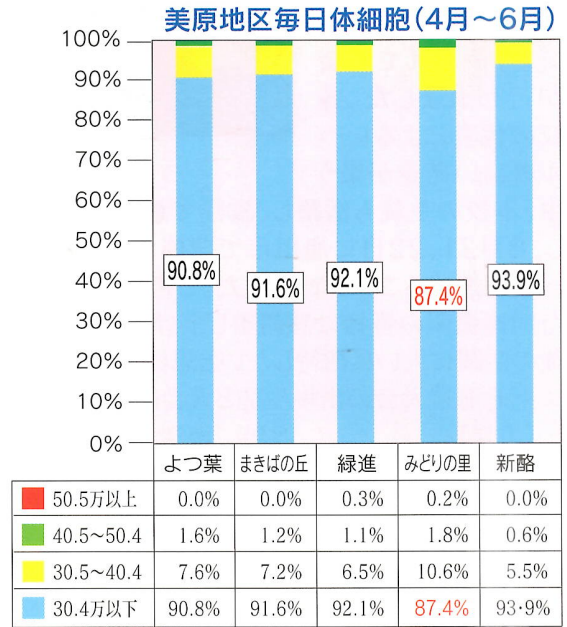
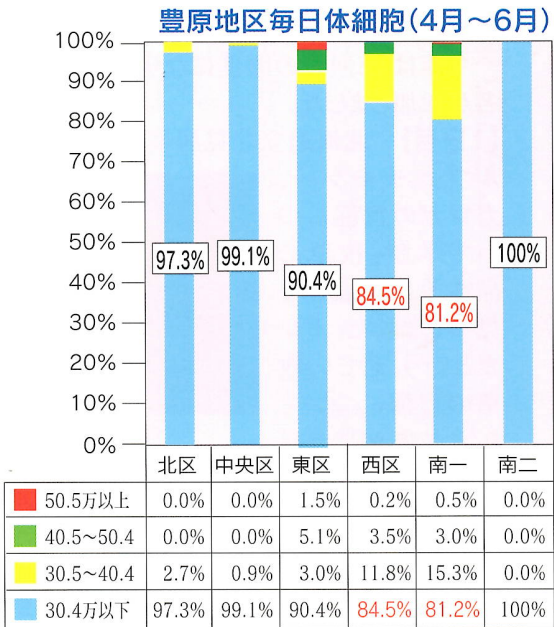


生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

治療牛への「マーキング徹底」で 事故防止!!

良質生乳生産推進委員からの標語

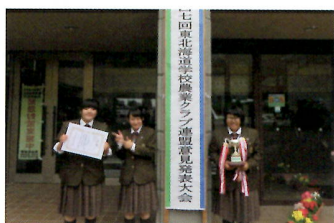


●【経営科】意見発表大会で活躍!

5月1日(月)、農業クラブ三大事業の1つである校内意見発表大会が本校体育館で行われました。審査員として、根室農業改良普及センター所長 嶋野幹夫様、別海町役場産業振興部の高橋克彦様をはじめ5人の方々の協力をいただいております。

この、校内大会を経て選出された3人の生徒が6月21日(水)に士幌町総合研修センターで開催された

東北北海道大会に参加しました。東北道地区の8校から、3分野に合計27発表がエントリーされて大会が行われました。各校の代表によるレベルの高い発表が集う



大会の様子

中、本校の生徒も活躍し、(鑑)類で最優秀賞を受賞し、8月21、22日に旭川市で開催される全道大会へ駒を進めることとなりました。ご指導いただきました関連機関の皆様へ感謝申し上げますとともに、生徒の活躍に大いに期待したいと思います。

<東北北海道大会の出場生徒と大会結果>

【Ⅰ類】 3年 南澤 茜

「三代目の酪農家として～私が目指す経営改善～」

【Ⅱ類】 最優秀賞 3年 守屋 美紅

「姉妹で彩る別海チーズ」

【Ⅲ類】 3年 斎藤 結璃

「私の決意 作業療法士としての夢」

●【経営科】ふれあい祭りに参加!

6月10日(土)にJA道東あさひふれあい祭りに参加させていただきました。平成26年よりJA道東あさひ様のご厚意で参加させていただいており、今年も花苗、野菜苗、寄せ植えなどを販売させていただきました。自家のウシをリードして参加する生徒もおり、大変有意義な勉強をさせていただきました。当日は、たくさんの町民の方がお見えになり、大変盛会でありました。今後もこうした地元のイベントに積極的に参加していきたいと思



きたいと思

●【専攻科】「北海道農業特別専攻科学生研修会兼酪農技術現地研修会」を開催!

5月23日(火)～25日(木)にかけて、別海高校専攻科と富良野緑峰高校専攻科が参加する北海道農業特別専攻科学生研修会兼酪農技術現地研修会が開催されました。今回は北見から旭川、富良野の農場や牧場を視察し、富良野緑峰高校専攻科の学生達とスポーツ交流会や夕食交流会を行い、親睦を深めました。



緑峰高校専攻科さんとの集合写真

今年では43回目の開催になり、両校専攻科学生19名が参加しました。

【1日目】 北海道立北見農業試験場にて、アルファ

ルフア、チモシー、ガレガの育種について学び、牧草の品種改良の過程を見学しました。ガレガという、珍しい牧草の育種についても学ぶ事ができ有意義な勉強をさせていただきました。



斉藤牧場の見学の様子

【2日目】 山間放牧で有名な斉藤牧場を、見学させて頂きました。配合飼料を与えず、繁殖も雄牛を放牧し自然交配で行うなど、自然に逆らわずに行う酪農を研修させて頂き、有意義な勉強をさせていただきました。午後からは、富良野緑峰高校専攻科の皆さんとスポーツ交歓会や、夕食交流会を行い親睦を深めました。

【3日目】 うすだFARMSにて富良野の現在の農業事情や畑作について学びました。タマネギの品種改良や方向性も学び、酪農においても経営面で共通しているなど、有意義な勉強をさせていただきました。次に、JAふらの本所にてフラノマルシェの直売所の来場者数、売り上げ、今後の課題など経営についての有意義な勉強をさせていただき、実際に、フラノマルシェの直売所も見学させていただきました。

研修会を終え、学生からは「富良野緑峰高校専攻科の学生と多くの情報交換ができ、またお会いしたい」、「また、様々な現地を見て勉強したい」という感想を多く聞きました。この研修会に補助をいただいた専攻科後援会の皆様、ご多用中にもかかわらず親身に対応してくださった各視察先の皆様はこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2018年度
学生募集

根釧酪農郷からの出発

北海道別海高等学校農業特別専攻科

専攻科説明会を実施します

日時:平成29年8月4日(金) 10:30~14:30

内容 概要説明・体験授業

入試日程等(1次)募集人員20名 修業年限2年間

★願書受付

平成30年1月10日(水)から
平成30年1月23日(火)正午まで

★検査日

平成30年2月6日(火)

★合格発表

平成30年2月14日(水)
作文および面接

★願書配布

平成29年11月30日(水)

年度始め納入費

・入学金や授業料など
45,550円

・後援会・学友会費など
32,450円

合計78,000円

※平成29年度入学生初年度

農業特別専攻科の特色

★18歳以上の酪農を目指す方が、自家や実習先、勤務先で就労・実習を行いながら学校で酪農の理論を学ぶ2年制の過程です。

★牧草の収穫時期には、農場【自宅・実習先】で実践を、春・秋・冬には学校に通学して理論を学びます。

実習先農家条件(例)

★3食あり、家賃なし、交通費なし、実習代(7~8万程度)支給。

★親方家族と生活をシェアするか、実習生用の間借りなど、ご相談に応じます。

★正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能。

H28年度卒

浜中町・後継者

下元 翔太さん



・海外研修(ニュージーランド)が履修出来ます(2年次希望者)。
・農業次世代人材投資資金(旧・青年就農給付金)(準備型)制度対象校です(審査)。要審査。

★昨年まで、車で片道40分ほどかけて通学し、専攻科で学びました。学んだスキルを生かし、将来の酪農経営の夢に向かって日々頑張っています。

説明会参加・資料請求等・お問い合わせ

別海高校農業特別専攻科まで

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1

FAX. 0153-75-2263 Tel.0153-75-2053 URL. <http://bekkai.hokkaido-c.ed.jp>

Email. bekkai-z0@hokkaido-c.ed.jp

第4回 理事会の動き

平成29年6月17日(土)

議案

1. 平成29年度理事報酬額の配分並びに支給方法について
2. 第19回「宵の市」の開催について
3. 平成28年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
4. 全酪連搾乳素牛預託事業拡充に伴う施設増築に係る全酪連との土地使用貸借契約の締結について
5. 平成29営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
6. 酪農経営体生産性向上緊急対策事業(労働負担軽減事業)の実施について
7. 酪農経営体生産性向上緊急対策事業(労働負担軽減事業)に係る資金の貸付について
8. 平成29年度大家畜特別支援資金への借換について

報告事項

1. 組合員の加入について
2. 組合員の脱退について
3. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告について
4. 総体的なリスク量管理および事業量・リスク・資本のバランス確認の報告について
5. 内部管理態勢に係る指導要綱・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
6. 要改善JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項について
7. 固定資産(パソコン)の取得について
8. 固定資産(駐車場看板)の取得について
9. 平成29年度5月末営農生産関連実績について

協議事項

1. 平成29年度役員研修旅行について

5月 乳質乳価一覧表

(単位:円)

5月分乳代支払単価

			単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	項目		単価(円)/(kg)%
乳脂肪分			917.132		35.84	35.28	0.56	乳脂肪分①		35円84銭
無脂乳固形分			579.849		50.72	49.93	0.79	無脂乳固形分②		50円72銭
補給金(脱パ・チーズ・生クリーム)			8.2853		8.29	6.59	1.70	補給金③チーズ奨励金④		8円29銭
乳質単価	生菌数	ランク1	2	323,167,271.7	3.72	3.72	0.00	脂肪率	全道	3.91%
		ランク2	0	6,404,245.1				農協	4.00%	
		ランク3	-3	361,089.2				無脂固形分率	全道	8.75%
	体細胞数	ランク1	2	2,82,875,847.9				農協	8.72%	
		ランク2	1	24,769,301.0				成分乳価	全道	94円85銭
		ランク3	-2	4,200,948.2				①+②+③+④=⑤	農協	95円53銭
合計					98.57	95.92	3.05	乳質乳価⑥	全道	3円72銭
								乳代合計	全道	98円57銭
								⑥	農協	3円71銭
								乳代合計	全道	99円24銭
								⑤+⑥	差異	0円67銭

成長して森林になるように期待を込めて

J A 中春別植樹祭

農協主催の植樹祭を6月1日(木)中春別地区富岡の農協所有地0.3haにおいて行いました。

当日は曇り空のなかの開催でしたが、組合員を始め別海町、野付漁協組合、根室振興局、釧路開発建設部、別海町森林組合など多数の関係機関より参加いただきました。今年は駐車場から植樹会場が隣接していなかったため、駐車場から500mほどスコップを担いで歩き一汗をながした後の植樹となりました。

約100人の参加者が750本の苗木(ナラ・エンジュ他)をスコップ片手に協力し合いながら1本1本丁寧に植樹をしました。

苗木から美しく豊かな森へとなることを願い、標柱杭を立て植樹祭は無事終了いたしました。

今後も中春別地域河川流域環境保全推進委員会を中心に、環境に配慮した資源循環型酪農の推進を行う計画でありますので、皆様のご協力をお願いいたします。参加された皆様お疲れ様でした。



ペア温泉宿泊券が当たりました!

お客様謝恩キャンペーン

日頃Aコープチェーンをご利用いただいているお客様に、感謝の気持ちを込めた謝恩キャンペーンが5月1日~5月31日まで実施されました。

Aコープの商品3000円お買い上げごとに応募することが出来るキャンペーンで、応募総数2枚の中から小湊組合長が抽選し、中春別地区・平林美知子さんがA賞6つの施設から「選べる北海道温泉ペア宿泊券」が当たりました。

その他にもB賞(選べる道内産ギフト)、C賞(農協全国商品券)が当たりました。当選された方々おめでとうございます。



退職の挨拶 猿谷 彩佳

この度、6月30日をもって退職いたしました。

約7年間、公私にわたりいろいろとお世話になりましたことを厚くお礼申し上げます。

いたらぬ私ではございましたが、皆様のご指導のもと沢山の経験を積むことができました。

貴重な経験として、これからの人生にかかしていきたいと思っております。

最後にお世話になりました皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。ありがとうございました。



組合員の 広 場

「共に白髪が生えるまで」

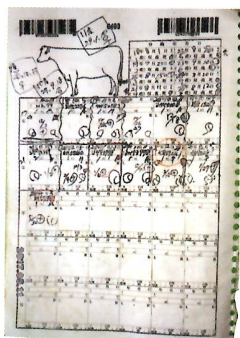
今月は美原地区の畠山吉男さんより長寿の牛2頭を紹介いたします。なんと1頭は平成12年2月9日生まれの14産、西暦2000年というと世界ではシドニー五輪が開催し高橋尚子選手がマラソンで日本の女子陸上競技として初の金メダルを獲得した年ですから、懐かしさも感じます。畠山家の次女の優花さんと同学年生まれという事で、共に成長し家族のような存在として育てられました。



0280の血統登録証明書



年の差なんと15才 H27.5.1生の初産と並んで



0493 報告カード

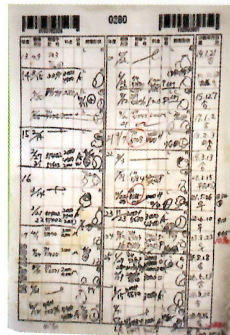
0280 リフレクション ルーテル サウスウインド H.12.2.9生

0493 ファミリー マース バツクナー ビー フタゴ H16.4.13生

更にもう1頭も平成16年4月13日生まれの11産とこちらも長寿。西暦2004年は新潟県中越地震が発生した年。お話を伺うと「できるだけ長命連産を心掛けています。基本的には長寿だからといって特別な扱いをして飼っていなかったが、最近ではカルシウム多めに給与したり、ビートパルプを水に浸してやわらかくしている。他の牛が周りにいると寝起きが辛そうなので、分娩房に移動させてバケツ攪りしている」と顔をほころばせながら語ってくれました。これからも長生きさせて下さいね。



0493 ファミリー マース バツクナー ビー フタゴ H16.4.13生



0280 なかなかお目にかかれない満点カード



0280 顔に白髪が生えるんですね



0280 リフレクション ルーテル サウスウインド H.12.2.9生

6月乳検成績(前月) 体細胞(千/ml) 160(52) 脂肪率 4.73(3.68) 乳量 31.5(31.8) 分娩後日数 54

6月乳検成績 体細胞(千/ml) 45(29) 脂肪率 3.66(3.25) 乳量 27.6(30.4) 分娩後日数 150

平成29年度 中春別農協・各組織役員名簿

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
理事會	代表理事	保稔 猛	中春別乳牛改良同志會	監會	知子 潤
	副代表理事	廣 武紀英一		副監會	美 晃光
監事會	理事	小西 佐大	農事組合長會	表 監	子 修吉
	理事	廣 武紀英一		表 監	二 男学
總務經濟委員會	委員	廣 武紀英一	農事組合長會	表 監	吾 朗志
	委員	廣 武紀英一		表 監	洋 徳
營農生産委員會	委員	廣 武紀英一	農事組合長會	表 監	哉 篤純
	委員	廣 武紀英一		表 監	広 一
労務委員會	委員	廣 武紀英一	農事組合長會	表 監	朗 雄哉
	委員	廣 武紀英一		表 監	勉 男樹
中春別酪農対策協議會	副委員長	伊中 浮高	中春別乳檢組合	組合	保稔 夫吉
	副委員長	伊中 浮高		副組合	寬 紀一
中春別農協青年部	部長	廣 武紀英一	中春別乳檢組合	表 監	二 幸修
	部長	廣 武紀英一		表 監	猛 夫
中春別農協女性部	部長	廣 武紀英一	良質生乳生産推進委員會	表 監	二 吉保
	部長	廣 武紀英一		表 監	策 健優
中春別農協年金友の會	會長	廣 武紀英一	良質粗飼料生産利用対策委員會	表 監	廣 一也
	會長	廣 武紀英一		表 監	子 子二
			中春別地域河川流域環境保全推進委員會	表 監	夫 吉次
				表 監	宏 優

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
中春別地域河川流域 環境保全推進委員会	委員	藤 有 策	離農跡地活用検討 委員会	総務	望 月 英 彦
	委員	西 牧 川 健		専務	佐 藤 山 武
	委員	浮 乾 知 英		代表	小 山 湊
	委員	村 野 大 卓		取 締	佐 藤 川 正 寛
	委員	片 岡 本 竜		取 締	西 遠 山 浩
豊原酪農振興会	会長	中 紫 田 貞 有	(有) ジェイエー マシセンター	専務	小 山 湊
	副会長	加 藤 口 信 次		取 締	山 西 望
	書記	加 西 野 矢 貴 政		取 締	伊 佐 藤 内
	幹事	池 木 西 牧 加 上 門 篠		取 締	伊 佐 藤 内
	幹事	西 野 池 木 西 牧 加 上 門 篠		取 締	伊 佐 藤 内
美原酪農振興会	会長	浮 関 藤 賣 山 乾 岩 熊	(株) なかしゅんべつ 未 来 牧 場	代表	小 友 湊
	副会長	矢 岡 場 本 浅 谷		専務	友 合 荒
	副総幹	橋 山 野 井 崎 井 澤 子 倉 田 澤 田 葉 口 藤 貫		取 締	西 望 伊 荒 望
	副幹	片 野 井 崎 井 澤 子 倉 田 澤 田 葉 口 藤 貫		取 締	西 望 伊 荒 望
	副幹	片 野 井 崎 井 澤 子 倉 田 澤 田 葉 口 藤 貫		取 締	西 望 伊 荒 望
中春別酪農振興会	会長	高 村 片 野 井 崎 井 澤 子 倉 田 澤 田 葉 口 藤 貫	農事組合法人中春 ミルクファーム	代表	西 望 伊 荒 望
	副会長	片 野 井 崎 井 澤 子 倉 田 澤 田 葉 口 藤 貫		理 理 理	西 望 伊 荒 望
	監 表	片 野 井 崎 井 澤 子 倉 田 澤 田 葉 口 藤 貫		理 理 理	西 望 伊 荒 望
	監 表	片 野 井 崎 井 澤 子 倉 田 澤 田 葉 口 藤 貫		理 理 理	西 望 伊 荒 望
	監 表	片 野 井 崎 井 澤 子 倉 田 澤 田 葉 口 藤 貫		理 理 理	西 望 伊 荒 望
豊原連合会	会長	青 野 芳 樹	別海町農業委員会	農 業 委 員	望 月 英 彦
	副会長	酒 井 口 岡 間 山 神 嵐 橋 見 葉 田 勝		会 長 (理 事 会)	藤 倉 月 村 藤 場 形 永 木
	副理事	田 花 天 浦 上 五 高 伏 千 出		副 会 長 (理 事 会)	望 中 遠 馬 尾 富 佐
	副理事	田 花 天 浦 上 五 高 伏 千 出		副 会 長 (理 事 会)	望 中 遠 馬 尾 富 佐
	副理事	田 花 天 浦 上 五 高 伏 千 出		副 会 長 (理 事 会)	望 中 遠 馬 尾 富 佐
美原連合会	会長	上 五 高 伏 千 出	中春別農協農 業後継者対策 協議会	会 長 (理 事 会)	藤 倉 月 村 藤 場 形 永 木
	副会長	上 五 高 伏 千 出		副 会 長 (理 事 会)	望 中 遠 馬 尾 富 佐
	副理事	上 五 高 伏 千 出		副 会 長 (理 事 会)	望 中 遠 馬 尾 富 佐
	副理事	上 五 高 伏 千 出		副 会 長 (理 事 会)	望 中 遠 馬 尾 富 佐
	副理事	上 五 高 伏 千 出		副 会 長 (理 事 会)	望 中 遠 馬 尾 富 佐
中春別町内会 連絡協議会	会長	上 五 高 伏 千 出	JA中春別酪農 ヘルパー利用組合	組 合 長	高 根 兼 柿 関 眞 佐 森 高
	副会長	上 五 高 伏 千 出		組 合 長	田 本 松 本 矢 下 藤 田 野
	副理事	上 五 高 伏 千 出		組 合 長	田 本 松 本 矢 下 藤 田 野
	副理事	上 五 高 伏 千 出		組 合 長	田 本 松 本 矢 下 藤 田 野
	副理事	上 五 高 伏 千 出		組 合 長	田 本 松 本 矢 下 藤 田 野
離農跡地活用検討 委員会	代表	小 西 藤 倉 寛 紀	中春別営農 サポート協議会	会 長	南 高 小 久 小 川 坂
	理事	小 西 藤 倉 寛 紀		副 会 長	南 高 小 久 小 川 坂
	理事	小 西 藤 倉 寛 紀		副 会 長	南 高 小 久 小 川 坂
	理事	小 西 藤 倉 寛 紀		副 会 長	南 高 小 久 小 川 坂
	理事	小 西 藤 倉 寛 紀		副 会 長	南 高 小 久 小 川 坂
離農跡地活用検討 委員会	代表	小 西 藤 倉 寛 紀	中春別サブ集落	集 落 長	遠 柿 関 賣 小 片 望 山 田 乾 高
	理事	小 西 藤 倉 寛 紀		集 落 長	遠 柿 関 賣 小 片 望 山 田 乾 高
	理事	小 西 藤 倉 寛 紀		集 落 長	遠 柿 関 賣 小 片 望 山 田 乾 高
	理事	小 西 藤 倉 寛 紀		集 落 長	遠 柿 関 賣 小 片 望 山 田 乾 高
	理事	小 西 藤 倉 寛 紀		集 落 長	遠 柿 関 賣 小 片 望 山 田 乾 高